

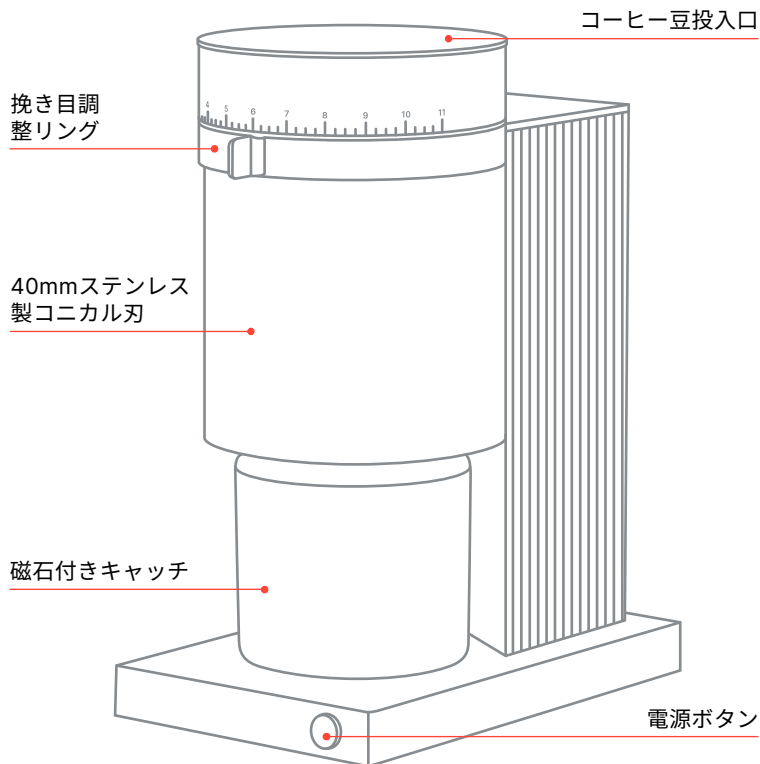
FELLOW®

OPUS™

コニカル刃コーヒーミル

取扱説明書/安全マニュアル

製品概要



説明をすべてお読みください。
この取扱説明書は捨てずに大切に保管してください。

OPUSコニカル刃コーヒーマル

Fellow Industries Inc.
Fellowproducts.com
Email: hello@fellowproducts.com
San Francisco, CA 94,110

製品名：Opusコニカル刃コーヒーマル
特許取得済み/出願中：fellowproducts.com/pages/patents
2年間の限定保証 | サンフランシスコで設計、中国製

モデル	仕様
APAAJP	100V 150W 50-60Hz 重量：2.27 kg (5.0 lbs) 寸法 (長さ x 幅 x 高)：210 mm x 129 mm x 268 mm グランド容量：100 g



合同会社Kurasu

家庭専用

詳細な情報の入手先：Fellowproducts.com/pages/gear-guides

重要な安全対策

ご使用前に、安全に関するこの警告をよく読み、正しくコーヒーミル/をご使用ください。この安全警告は、本製品を安全かつ適正に使用し、使用者や他の人への危険や器物破損を未然に防ぐためのものです。本製品を使用する際には、必ず以下を始めとする基本的な安全上の注意事項に従ってください。

一般注意事項

- 説明をすべて読むこと。
- コーヒーミルの開封後は、ビニール袋などの梱包材を慎重に処分し、子供の手が届かないようにしてください。
- ステッカー、説明ラベル、結束バンド、梱包材 (静電気防止シール、結束バンド付きタグなど) をすべて剥がし、リサイクルするか廃棄すること。
- 電源が入っている状態で、ミルの内部に指を入れないこと。
- コーヒーミルの中やミルの出口に器具を入れないこと。
- シュートを覆う安全カバーをみだりに触らないこと。
- 本製品にはネオジム磁石が内蔵されており、一方が基部内に、他方が磁石付きキャッチ内に入っています。磁力で害を受ける物品は、本製品に近づけず、安全な距離(10cm以上)を保つようにしてください。
- 電子秤の上に磁石付きキャッチを載せないこと。電子秤の精度に干渉し、損傷するおそれがあります。

電化製品に関する注意事項

- 感電防止のため、コーヒーミルのコード、プラグその他の部位を水や液体に漬けないこと。
- 製造元が推奨または販売していないアタッチメントを使用すると、火災・感電・負傷の原因となります。

重要事項

- 本製品を最高性能で利用するには、作動時間を1回につき120秒未満にし、2回連続で使用する場合は、間に休止時間を少なくとも90秒置いてください→取ってください。
- このコーヒーミルは、10分の時間枠内で合計6分を超えて使用できません。6分を超えると、過熱防止のため、30分間自動停止するようにプログラム→設計されています。
- 交流電流と適正電圧でのみ使用すること。主電源の電圧がコーヒーミルの底面に記載されている電圧と一致しているか確認すること。電氣的過負荷を防止するため、他の高電力器具と同じ回路上で使用しないこと。
- 本器具のプラグには極性があります(一方が他方より幅広)。感電防止のため、本プラグはコンセントに一方方向のみ適合するようになっています。プラグが合わない場合は、差し込み方を逆にします。それでも合わない場合は、電気技師に連絡してください。プラグは絶対に改造しないでください。
- コードが長いと絡まったり、足を引っ掛けたりするため、電源コードは短くなっています。長いコードが必要な場合は、適正な延長コードを使用できます。延長コードの電気定格は、本器具と同等以上でなければなりません。
- 延長コードがキッチンカウンターやテーブルの端から垂れ下がると、子供が引っ張ったり引っ掛けたりすることがあるため、配置には注意してください。
- コードやプラグが破損した場合、またコーヒーミルが故障したり何らかの破損が生じたりした場合、コーヒーミルを使用しないでください。購入店、輸入代理店、もしくはFellowが認定したサービスセンターへ連絡し、適切な処置を受けてください。
- 電気回路の過負荷を防止するため、本器具と同じ回路上で他の高電力器具を使用しないでください。

- 火災や感電のリスクを減らすため、底面カバーを基部から外したり、コーヒーミルの基部を分解したりしないこと。内部にユーザーが修理・交換可能な部品はありません。コーヒーミルの基部を開けた場合、保証が無効になります。修理は、正規のサービス担当者だけに依頼すること。

ご使用に関する注意事項

- 本器具は家庭専用です。この目的以外で使用した場合、保証は無効になります。
- 屋外では使用しないでください。
- 爆発性・可燃性の気体があるところでは使用しないでください。
- 初めて使用する前に、水で湿らせた柔らかい布でコーヒーミルの本体を拭きます磁石付きキャッチとその蓋を拭いてから、十分に乾かします。
- 他の熱源に触れそうな場所にコーヒーミルを置かないでください。たとえば、高熱のガスバーナーや電気バーナー、加熱したオープン、電子レンジの近辺などです。
- コーヒーミルは転倒防止のため、キッチンカウンターの端から離して、乾いた平な面に置いて使用してください。運転中の振動でコーヒーミルが移動することがあります。
- 豆の投入口に異物がないか確認してください。
- コーヒーミルには、挽いていないコーヒー豆だけを使用してください。すでに挽いたコーヒー粉をコーヒーミルに入れしないでください。一度挽いたコーヒーを再度挽くと、コーヒーミルの摩耗が早まり、保証が無効になります。
- コーヒー豆とコーヒーミル洗剤以外は、一切コーヒーミルに入れしないでください。
- 運転中のコーヒーミルを動かさないでください。
- コーヒーミルの使用中に、その場を離れないでください。
- 運転中のコーヒーミルが傾かないように気をつけてください。傾けると内部の部品が損傷するおそれがあります。

- コーヒーミルの可動部には触れないようにしてください。安全連動機構を損なわないようにしてください。
- 本製品、身体・感覚・精神機能が低下している人や、子供など経験・知識のない人が使用することを意図していません。ただし、使用者の安全に責任を負う人が、本製品の使用について、綿密な監督や指示を与える場合はこの限りではありません。どのような電気器具であれ、子供が使用する場合や子供のそばで使用する場合は、細心の注意が必要です。子供が本製品で遊ばないように見守ってください。
- 本製品を使用しない場合や、組立・清掃をする前には、電源を切ってから電源コードを抜いてください。プラグを抜くときは、プラグ部分を持ってコンセントから外してください。電源コードを引っ張ってはなりません。

本説明書は大切に保管してください

清掃とメンテナンス

- 器具の清掃を行う前に、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。
- 清掃の前に、コーヒー豆を入れずに10秒ほど運転すると、刃やミルの出口に付着したコーヒー豆や粉を除去できます。
- コーヒーミルの清掃は、各部品の動きが停止してから行ってください。豆の投入口に蓋がしっかりセットされていない状態で、コーヒーミルを使用しないでください。
- コーヒーミルの外側の清掃は、湿った布で拭くだけにしてください。
- コーヒーミルを毎日使用する場合、少なくとも3か月に一度は清掃用錠剤(下記「自動クリーニング」を参照)または固めのブラシで刃を清掃してください。
- 刃を清掃するには、「刃の取り外しと清掃」セクションの手順に従って刃を取り外します。

注意!

- 清掃に研磨パッド、刺激の強い化学薬品、スプレー式化学洗剤剤を使用しないでください。器具の表面に傷がつくおそれがあります。
- コーヒーミルの部品を食器洗浄機に入れないでください。

- コーヒーミルを水に漬けないでください。刃を水洗いしないでください。
- 固めのブラシで刃に付着したコーヒーの粉を払い落とし、「刃の取り外しと清掃」セクションの順序に従って刃を取り外します。
- 磁石付きキャッチは、湿った柔らかい布で優しく拭いてください。清掃後は乾いた布で拭いてください。
- 湿った柔らかい布でコーヒーミルの外側と豆の投入口を拭きます。

自動クリーニング

- コーヒーミルの清掃には、Urnex Grindz™などのコーヒーミル清掃用錠剤を使用すると手早く行うことができます。清掃用錠剤は、刃に付着したコーヒーの粒子を遊離させて目詰まりを防ぎ、臭いやコーヒーの油性残留物を吸収・除去します。
- 清掃用錠剤を使用するには、コーヒーミルを10~20秒ほど回転させて、豆をコーヒーミルから完全に排出します。清掃用錠剤の説明書を参考に、コーヒーミルに錠剤を適量投入します。挽き目設定を11に合わせ、電源ボタンを押してコーヒーミルを作動させます。錠剤を完全に挽いて、磁石付きキャッチに落とします。終了後、30gほどのコーヒー豆を挽いて、錠剤の残留物を除去するようお勧めします。パウダーキャッチャーに溜まった錠剤やコーヒーの粉を捨てて清掃します。

詰まったコーヒーミルの清掃

Opus コニカル刃コーヒーミルは、時折詰まって作動しなくなることがあります。そうなると、ホッパー内にコーヒー豆がまだ残っているのにコーヒーミルが停止し、「SOS」(救難信号)を示すピープ音が鳴ります。

軽度の詰まりは以下の方法で解消できます。

1. 磁石付きキャッチが空であることを確認します。挽き目調整リングを11に合わせます。
2. コーヒーミルの側面を何度か叩いて、振ります。
3. 電源ボタンを押して、コーヒーミルの側面を数秒叩きます。コーヒーミルが動けば、詰まりは解消されました。動かなければ、重度の詰まりの解消手順に進みます。

重度の詰まりは、以下の方法で解消できます。

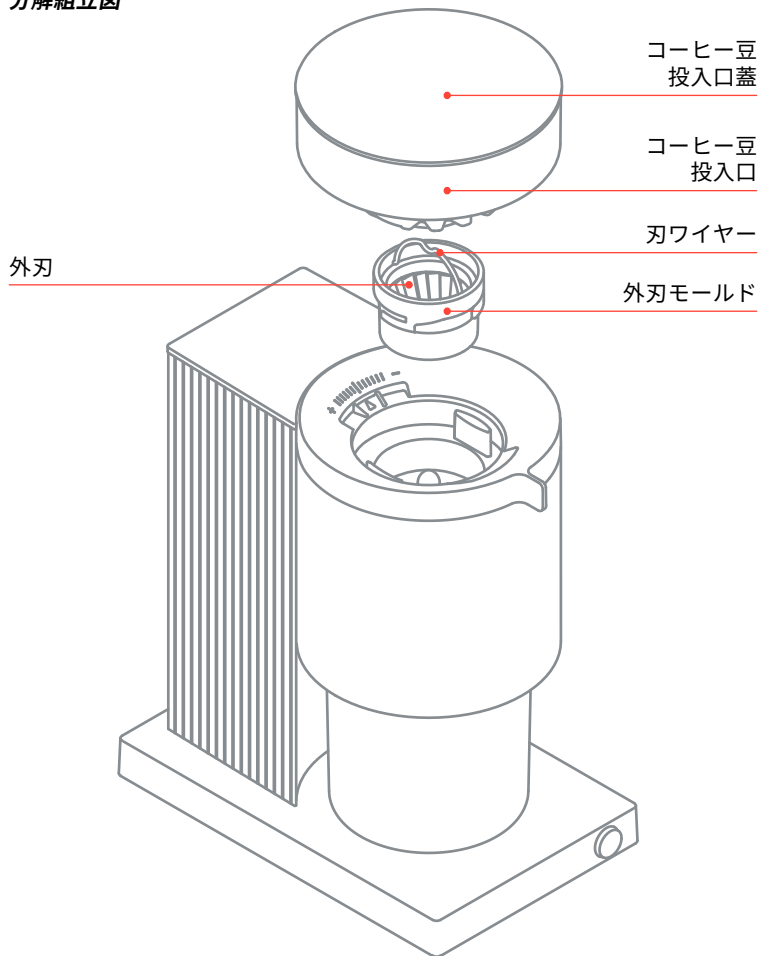
1. コーヒーミルの電源プラグを抜きます。
2. コーヒーミルの豆の投入口を外します。投入口は、回してロックする構造になっているので、反時計回り(左)に回してロックを解除してから上に持ち上げます。
3. 外刃のワイヤーを持ち上げて (図Aを参照)、反時計回り(左)に回し、ミルとのロックを解除してから上に持ち上げて外します。
4. ミル内のコーヒーを取り除いて、捨てます。
5. 外刃と内刃を点検して、コーヒー豆や異物(石、棒、未焙煎のコーヒー豆など)が詰まっていないか確認します。詰まったコーヒー豆を取り除き、本マニュアルの「清掃」セクションの説明に従って刃を清掃します。
6. 刃と投入口を元通りに取り付けます。コーヒー豆が入っていない状態でコーヒーミルを5秒間作動させ、正常に作動することを確認します。コーヒーミルは静かに、一定の速度で回転するはずですが、コーヒーミルから異音がある場合は、この作業を繰り返して、コーヒーの粒子が完全に除去されているかどうかを慎重に点検してください。
7. 問題が解消しない場合は、Fellowカスタマーサービスにご連絡ください (help.fellowproducts.com)。

刃の取り外しと清掃

注意：刃は鋭利なため、取り扱いには気をつけてください。

1. コーヒーミルの電源プラグを抜き、コーヒー豆や粉を取り除きます。

図A：
分解組立図



2. 投入口を反時計回り(左)に回し、ロックを解除して持ち上げ、外します。
3. 次に外刃を外します。外刃は、プラスチック製のモールド内に成形加工されており、ワイヤー製のハンドルが付いています。外刃モールドごとミルの中に入れて回すと、ロックが掛かるようになっています。ホッパーと同様の機構です。取り外すには、外刃モールドがコーヒーミルから外れるまでワイヤー製のハンドルを反時計回り(左)に回してから持ち上げます。

刃を分解しないでください。刃やミルの中に付着したコーヒーの粉を硬めのブラシで払い落としてから、外刃を取り付けます。

保証

お使いのOpusコニカル刃コーヒーミルのサービス、修理、ご質問は、次のサイトをご覧ください：

[Fellowproducts.com/pages/gear-guides](https://www.fellowproducts.com/pages/gear-guides)

Fellowカスタマーサービス担当者に相談せずに、本製品をメーカーに返送したり、サービスセンターに搬送したりすることがないようにしてください。

2年間の限定保証

Fellowは、素材または製造過程に起因する欠陥に対して、消費者による最初の購入日から2年間本製品を保証します

本保証は以下に該当する場合にのみ有効です。

製品の一次購入者。

正規販売店で購入した製品。

購入したことを証明する販売レシートのある保証請求。

本保証には、以下に起因する製品の損傷は含まれません。

Fellowの指示に従わずに生じた事故、誤用、またはお客様の誤修理に起因する損傷。

間違った電流や電圧での使用。

コーヒーミルの清掃指示の不履行。

本書の警告・指示に記載されている安全対策の不履行。

焙煎済みコーヒー豆/清掃用錠剤以外の粉碎。

保証期間内に製品に不具合が生じた場合、または保証やサービスに関するご質問がある場合は、**help.fellowproducts.com** にアクセスしてお問い合わせください。

製品のお問い合わせ先

輸入販売元：合同会社Kurasu

住所：京都府京都市下京区東油小路町552 番地

Mail：hello@kigu.coffee

Tel：075-222-5522

詳細な情報の入手先：
Fellowproducts.com/pages/gear-guides